



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

9 月 号
令和 3 年 9 月 1 日
横浜市立屏風浦小学校
校長 海老原 眞

感謝を次に進む力へ

校長 海老原 眞

7月初旬、関東地方をおそった豪雨といい、8月半ばの九州地方を中心とした豪雨といい、今年の夏は、例年の暑さとともに多くの雨にも悩まされる季節となったように感じた夏でした。特に、7月3日の豪雨に起因した静岡県熱海市伊豆山地区の土石流災害では、身近な地域で多くの方が被害に遭われている現状をニュース等で目の当たりにし、改めて自然の猛威と怖ろしさ、そして災害に対する備えの大切さを感じずにはいられません。この夏の各地の豪雨に関連して、命を落とされた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い被災地の復興を心から願ってやみません。



さて、事前に様々な心配がささやかれながらも、7月23日～8月8日まで、一年延期された東京オリンピックが開催されました。大会が始まると、メディアでは、東京オリンピックの話題が数多く取り上げられ、日本からは国内の厳しい予選を勝ち抜いた、多くのアスリートたちが出場し各種目で大活躍しました。終わって

みれば、数々の競技で過去最高の合計58個のメダルを獲得しました。そんな中、私がこのオリンピックで印象に残ったのは、『感謝を忘れない心』と『次へ進む力』です。

このオリンピックに向けて選手たちの積み重ねた努力は、計り知れないものがあります。その努力をかけて向かう姿は、私たちにとっても大きな感動を与えてくれます。そして、どの選手もが試合後語っていたのは、今の状況を冷静に捉え、試合をできることや周りで自分を支えてくれている人等に対する『感謝』の言葉でした。個人競技でさえ、日本というチームで、そして周りで声をかけ励まし支えてくれるいろいろな人がいるからこそ生まれる大きな力を選手が随所で感じることに、どの選手も感謝の気持ちを当日の試合に向かう力に変えていたように思います。もちろん、思うような記録が出せず、涙を飲んだ選手も多くいたことも事実です。しかし、そのショックをいつまでも引きずるのではなく、周りに対する感謝を抱きながら、この経験を生かしてこれから頑張っていこうと顔を上げて堂々と歩み出す、そんな『次に進もうとする』すがすがしい表情も試合後には輝いていました。

新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、夏休み明けは、臨時休業を経て、分散登校から始まる2学期になりました。学校でも感染防止対策を改めて見直し、子どもたちの安全や健康に留意して教育活動に取り組んでいきたいと思っております。感染状況を見極めながらの教育活動の中では、保護者の方々のご理解とご協力をいただくことも数多くあるかと思っておりますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

～令和3年度 学校を支えていただいている皆さん～

花と野菜のサポーター 原 稔 さん

〈活動内容〉

校内の野菜や花の世話を中心に、土づくりや水やりなど様々なサポートを行っていただいております。今年度は、1年生の生活科の学習にゲストティーチャーとして授業に参加していただき、野菜の育て方を教わりました。また、5年生に田植えの仕方をお教えしていただきました。その他にも多くの学年のお手伝いをしてくださっています。

